2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について～
（アップデート）

2026年11月10日

ナラサキ産業株式会社

（証券コード：8085）

目次

1 2027年3月期 第2四半期（中間期） 実績 P4

2 2027年3月期 業績予想 P10

3 成長戦略 P13

4 補足資料 P22

1 2027年3月期 第2四半期（中間期） 実績 P4

2 2027年3月期 業績予想 P10

3 成長戦略 P13

4 補足資料 P22

2027年3月期 第2四半期(中間期) サマリー

売上高、営業利益、経常利益、中間純利益が過去最高を更新

データセンターなどのインフラ投資や生成AI・半導体関連需要により業績を力強く牽引

修正業績予想をいずれも上回る

修正時よりも建築設備、半導体、生成AI関連需要が想定を上回る結果に

(注)2026年8月4日公表の業績予想修正値との比較

全セグメントで売上高・利益ともに前年比増

電機関連事業好調の他、大型案件の受渡しや北海道新幹線関連需要により堅調に推移

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績

- 前年比で売上高は15.0%増、営業利益は128.7%増で、過去最高水準を更新
- 電機関連事業の躍進が全社を牽引、業績を大きく押し上げた

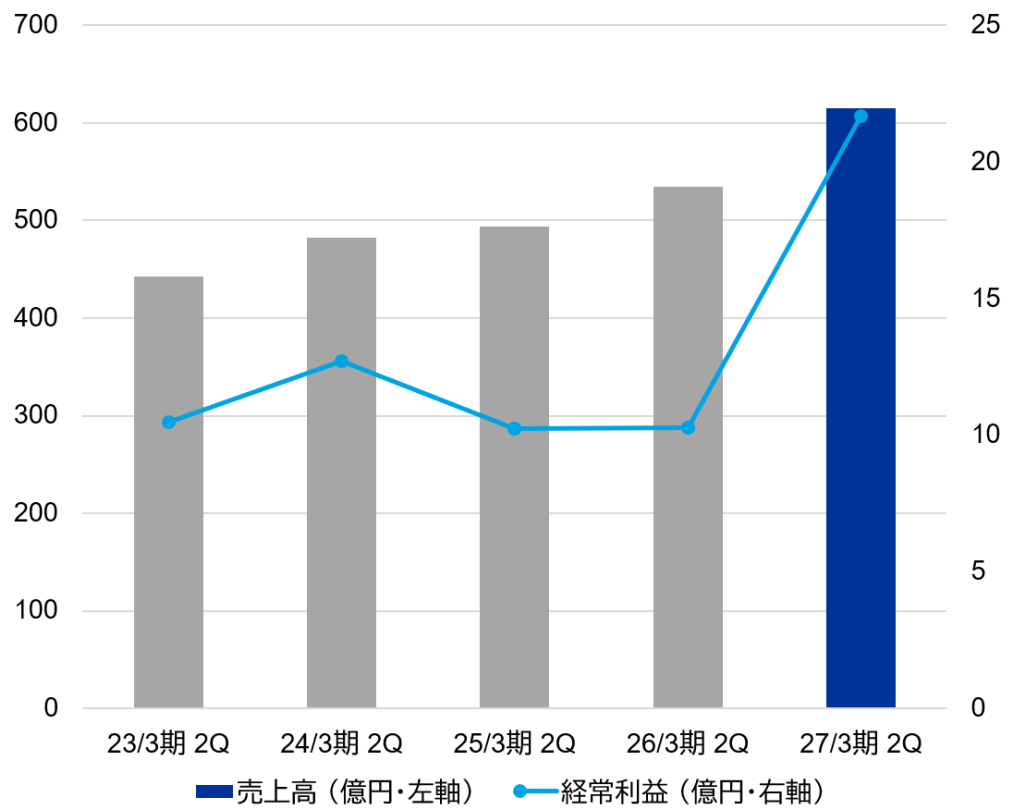
2027年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績

（単位：百万円）

	2026年3月期 第2四半期（A）	2027年3月期 第2四半期 前回発表予想	2027年3月期 第2四半期 実績（B）	増減額（B－A）	増減率
売上高	53,472	57,000	**61,510**	+8,038	+15.0%
営業利益	922	1,400	**2,108**	+1,186	+128.7%
営業利益率	(1.7%)	(2.5%)	**(3.4%)**		
経常利益	1,026	1,400	**2,169**	+1,143	+111.4%
経常利益率	(1.9%)	(2.5%)	**(3.5%)**		
中間純利益	643	1,000	**1,541**	+897	+139.4%
(注) 純利益率	(1.2%)	(1.8%)	**(2.5%)**		

(注)親会社株主に帰属する中間純利益

直近5年の連結業績推移

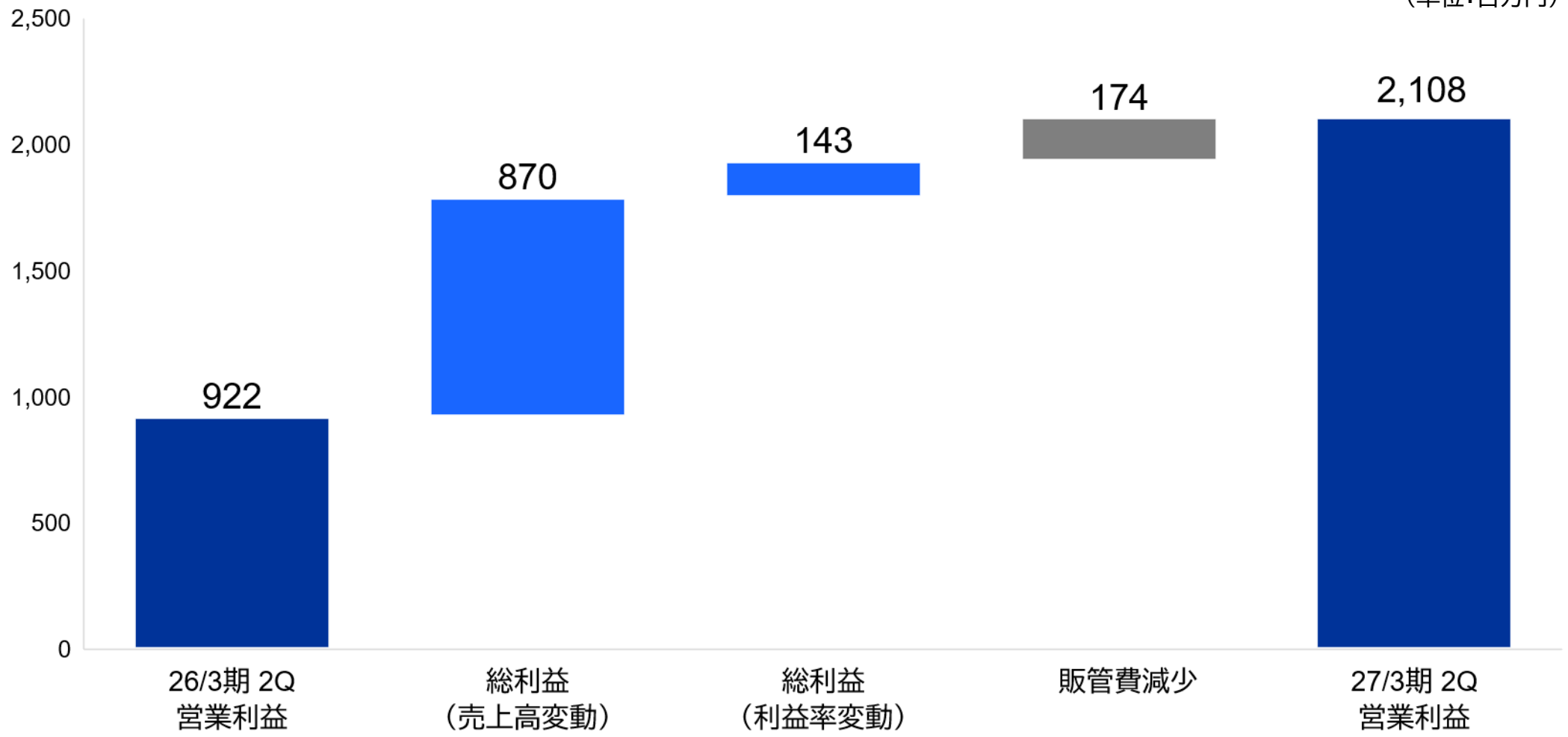


Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期(中間期) 営業利益増減分析

- 売上高増加、利益率改善及び販管費減少に伴い、営業利益は1,186百万円増加

(単位:百万円)



Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期（中間期）セグメント別業績

（単位：百万円）

		2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減額	セグメント別の概況
電機関連	売上高	12,996	**18,963**	+5,966	• データセンター等のインフラ投資需要が引き続き高い水準で推移 • 生成AI関連需要による半導体設備部品が大きく伸長し、レーザ加工機輸出案件も順調に進捗
	セグメント利益	369	**1,174**	+805	
機械関連	売上高	2,911	**4,270**	+1,359	• 農産物低温貯蔵設備や食品関連設備等の受渡しが順調に進展 • 資材費高騰等による設備投資抑制続くも、北海道では気候変動対策等による投資が拡大し、貯蔵設備等の引合い・受渡しが堅調に推移
	セグメント利益	△ 20	**99**	+120	
建設・エネルギー関連	売上高	29,333	**29,591**	+258	• 橋梁資材や北海道新幹線工事向けのセメント・生コン出荷が順調に推移 • 建設機械関連では、設備投資の一巡や価格上昇により新車需要は低調 • エネルギー関連では、収益力強化により収益面は堅調に推移
	セグメント利益	324	**407**	+83	
海運関連	売上高	8,230	**8,684**	+454	• 苫小牧、室蘭において鋼材、石炭、バイオマス燃料等の取扱いが好調に推移 • 荒天等の影響により国際輸送取扱量が減少したが、新規貨物の獲得や業務効率化、保有設備の利用拡大に注力
	セグメント利益	251	**420**	+168	

(注1)売上高＝外部顧客への売上高
(注2)セグメント利益の合計額は配分していない全社費用等が含まれており、連結営業利益とは合致していない

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期（中間期） 財務状況・CF状況

- 利益の積み増しにより、自己資本比率は前期末比3.4ポイント増加の49.8%

財務状況

（単位：百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減
流動資産	41,900	**40,413**	△1,486
固定資産	20,678	**21,636**	+957
資産合計	62,579	**62,050**	△529
流動負債	27,808	**25,149**	△2,659
固定負債	5,253	**5,507**	+253
負債合計	33,062	**30,656**	△2,405
純資産合計	29,517	**31,393**	+1,876

CF状況

（単位：百万円）

	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減
営業活動CF	1,511	**△ 309**	△1,821
投資活動CF	△ 1,088	**310**	+1,399
財務活動CF	△ 796	**△ 670**	+125
現金・現金同等物（期首）	12,609	**12,852**	+243
現金・現金同等物（期末）	12,231	**12,188**	△43

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

1 2027年3月期 第2四半期（中間期） 実績 P4

2 **2027年3月期 業績予想** P10

3 成長戦略 P13

4 補足資料 P22

2027年3月期 連結業績予想修正 サマリー

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正

売上高は2%増、営業利益・経常利益は14%増、親会社株主に帰属する当期純利益は12%増の見込み

(注)2026年5月12日公表の業績予想値との比較

半導体・生成AI関連需要を背景に通期で好調の見込み

人手不足、資材高騰など不透明感あるものの、電機関連事業を中心に業績伸長、北海道新幹線関連需要なども堅調推移の見込み

2027年3月期配当予想を20円増配の160円に上方修正

顧客・マーケットのニーズを的確に捉え、中計最終年度としてグループ総合力を発揮することにより、業績予想達成と6年連続増配を目指す

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 連結業績予想

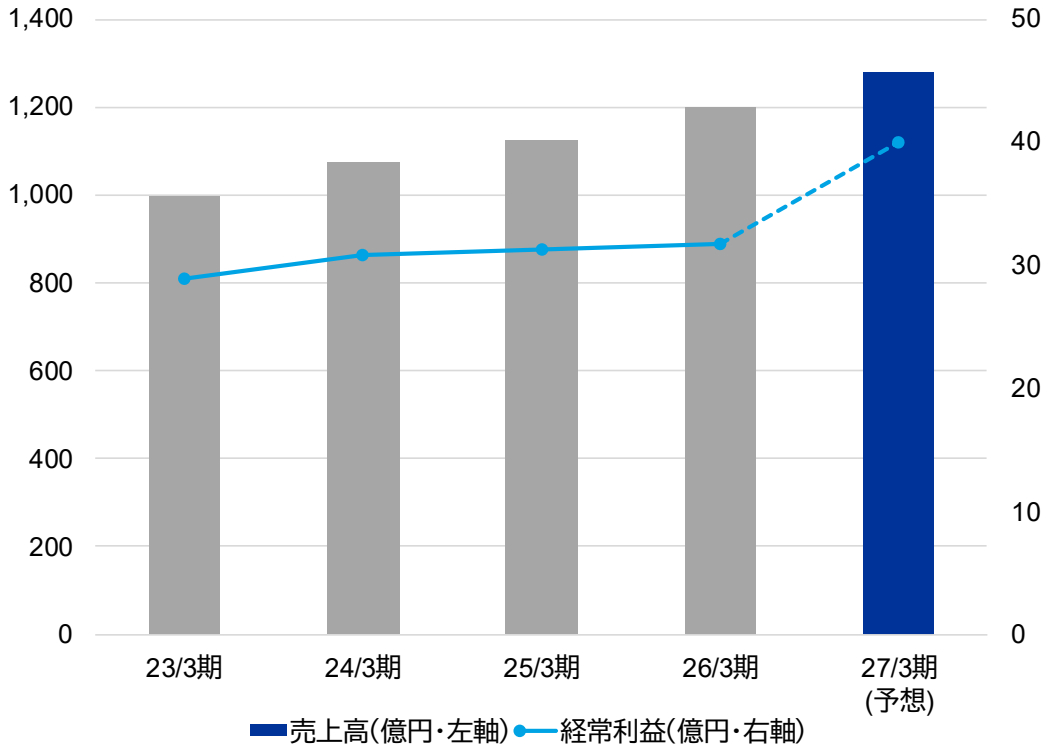
- 電機関連事業では、建築設備分野・生産設備分野における需要を取り込み、最高益更新を見込む
- その他事業では、大型案件の確実な受渡し、顧客ニーズの発掘を進め、更なる業績向上と業容拡大を目指す

2027年3月期 連結業績予想

（単位：百万円）

	2026年3月期（A）	2027年3月期 前回発表予想	2027年3月期 今回発表予想（B）	増減額（B－A）	増減率
売上高	120,282	125,000	**128,000**	+7,718	+6.4%
営業利益	3,068	3,500	**4,000**	+932	+30.4%
営業利益率	(2.6%)	(2.8%)	**(3.1%)**		
経常利益	3,170	3,500	**4,000**	+830	+26.2%
経常利益率	(2.6%)	(2.8%)	**(3.1%)**		
当期純利益	2,242	2,500	**2,800**	+558	+24.9%
純利益率	(1.9%)	(2.0%)	**(2.2%)**		

直近の連結業績推移+予想



Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

1 2027年3月期 第2四半期（中間期） 実績 P4

2 2027年3月期 業績予想 P10

3 成長戦略 P13

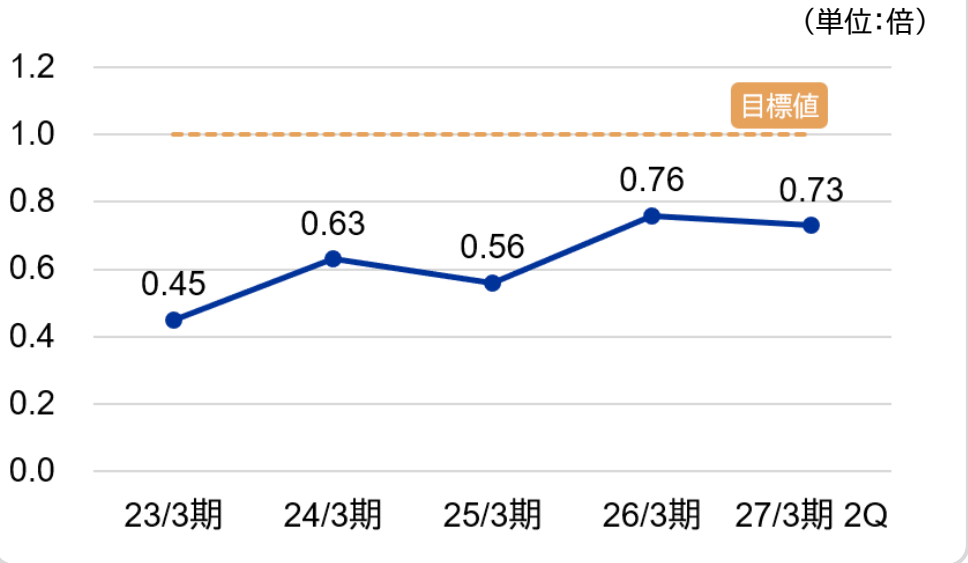
4 補足資料 P22

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

PBR（株価純資産倍率）

- 27年3月期2QのPBRは0.73倍と横ばい
- 目標値には届かないものの、過去5年で改善傾向
- 成長・資本・IR戦略の更なる推進が必要と認識

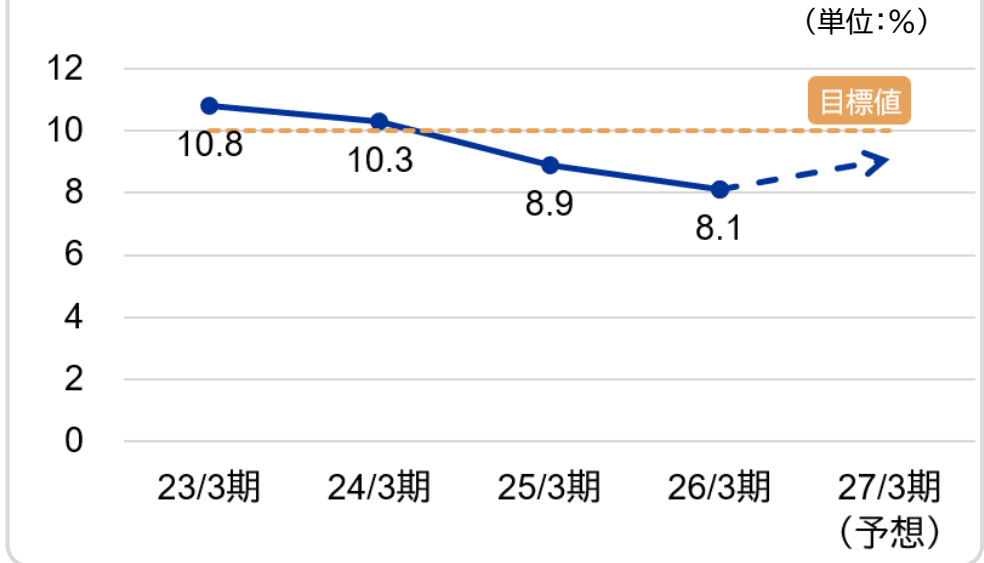
PBR 目標値 | 1倍



ROE（自己資本利益率）

- 前期末比＋1%予想（直近5年間平均ROEは9.3%）
- 目標値達成・増配に向け、利益確保を目指す

ROE 目標値 | 10%

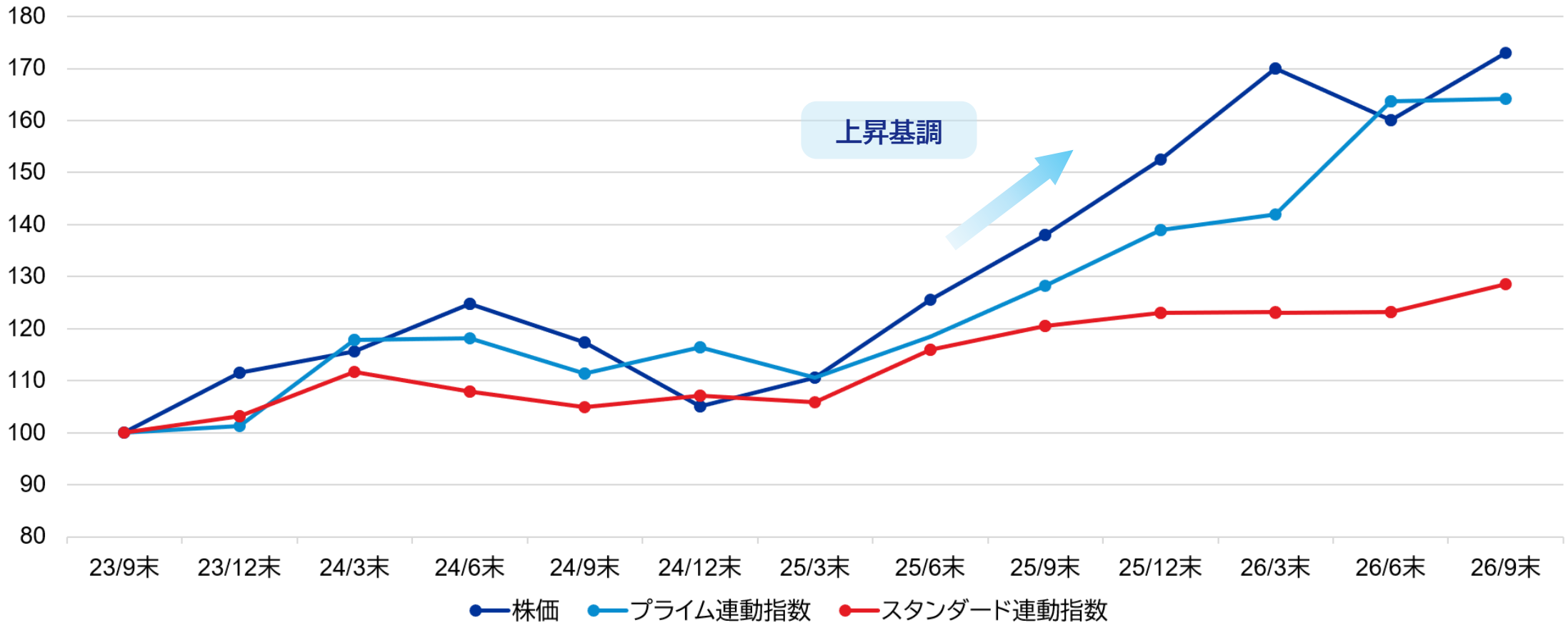


(注) 27/3期ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益(期末予想値)÷27/3期 2Q自己資本

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

株価指数推移

- 対象期間を通じて株価指数は上昇基調で推移、直近は主要指数を上回る傾向



(注1)プライム連動指数およびスタンダード連動指数は株式会社Figurout提供『Hooolders Analytics』の独自指数に基づく
(注2)2023年9月末日の各値を「100」として、以降の当社株価および各連動指数の推移を表す

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

PBRの改善に向けた取り組み～ROE・PERの向上～

- 中期経営計画に基づく成長戦略を着実に実践することを通じて、事業価値を継続的に向上させ、PBR1倍超の早期実現を目指す



Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略～グループ総合力によるソリューションの提供～

- 電機、機械、建設・エネルギー、海運の4セグメントをコア事業と位置付け、各事業セグメント間での情報共有化を推進し、連携・協業体制をなお一層強めることにより、更なる収益拡大に努める

連結目標数値（2026年度）	営業利益：40億円	当期純利益：28億円	ROE:10%	配当性向：30%以上

基本方針

成長戦略の推進　部門間連携の強化　経営基盤の強化　サステナビリティの推進

事業戦略

- グループ総合力の発揮
- 収益力強化と生産性向上
- DX・GX分野の取組み強化
- 環境変化への適応

- 電機関連
- 海運関連
- 機械関連
- 建設・エネルギー関連

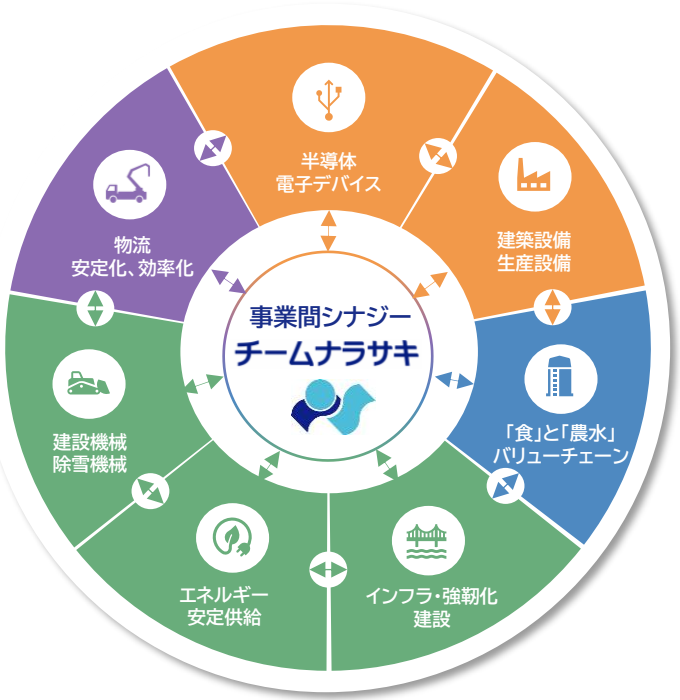
Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

成長戦略の進捗状況

- 成長戦略を支える「複合セグメント」と「チームナラサキ」のグループシナジー

  ベースとなる安定収益の確保に加え、成長市場における各種需要を捕捉する成長ドライバーが収益を牽引
  多種多様な顧客とそのニーズに対応するべく、グループシナジーによるワンストップサービスの提供拡大を図る

複合セグメントの強み × **チームナラサキのグループシナジー** = **売上高・総利益に反映**

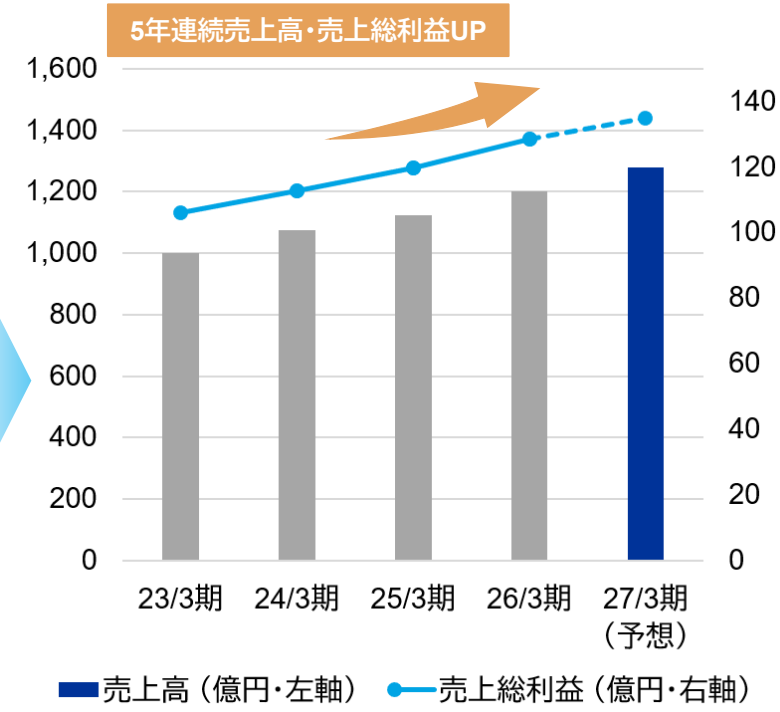


ワンストップサービス

多様なニーズに、チームナラサキの総合力で
ワンストップで対応

お客様 → 相談 一つの窓口 → ソリューション 提案 → 導入 → 保守

「チームナラサキ」最大の強み



Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けた各戦略の実施状況

財務戦略　評価 ○

- 営業CFは一時的に減少も、想定以上の償却前利益を確保
- 安定収益を確保、連結BS圧縮に努めた結果、自己資本比率は3.4ポイント改善し49.8%へ
- 成長戦略投資及び経常投資に関して、グループ内資金を有効活用し、総資産圧縮に努力

人事戦略　評価 ○

- 多様な人材確保を目指し採用活動展開、想定通りの人材確保
- 研修内容充実、教育体系見直し検討中、コンプラ教育継続
- エンゲージメント向上へ、人事諸制度見直し等を推進中
- 職場環境改善、コミュニケーション維持のための施策展開中
- 人的資本投資の一環として、社員向け株式報酬制度導入済

サステナビリティ戦略　評価 ○

- 環境ビジネスへの取組み、インフラ整備事業への貢献に向け施策を展開中、「SustainabilityReport2026」制作・開示
- 全社対応リスクに関する取り組み、情報交換会の定期開催等を通じて、グループガバナンス体制整備は進展
- ハラスメント基本方針制定・開示、公益通報者保護法対応済

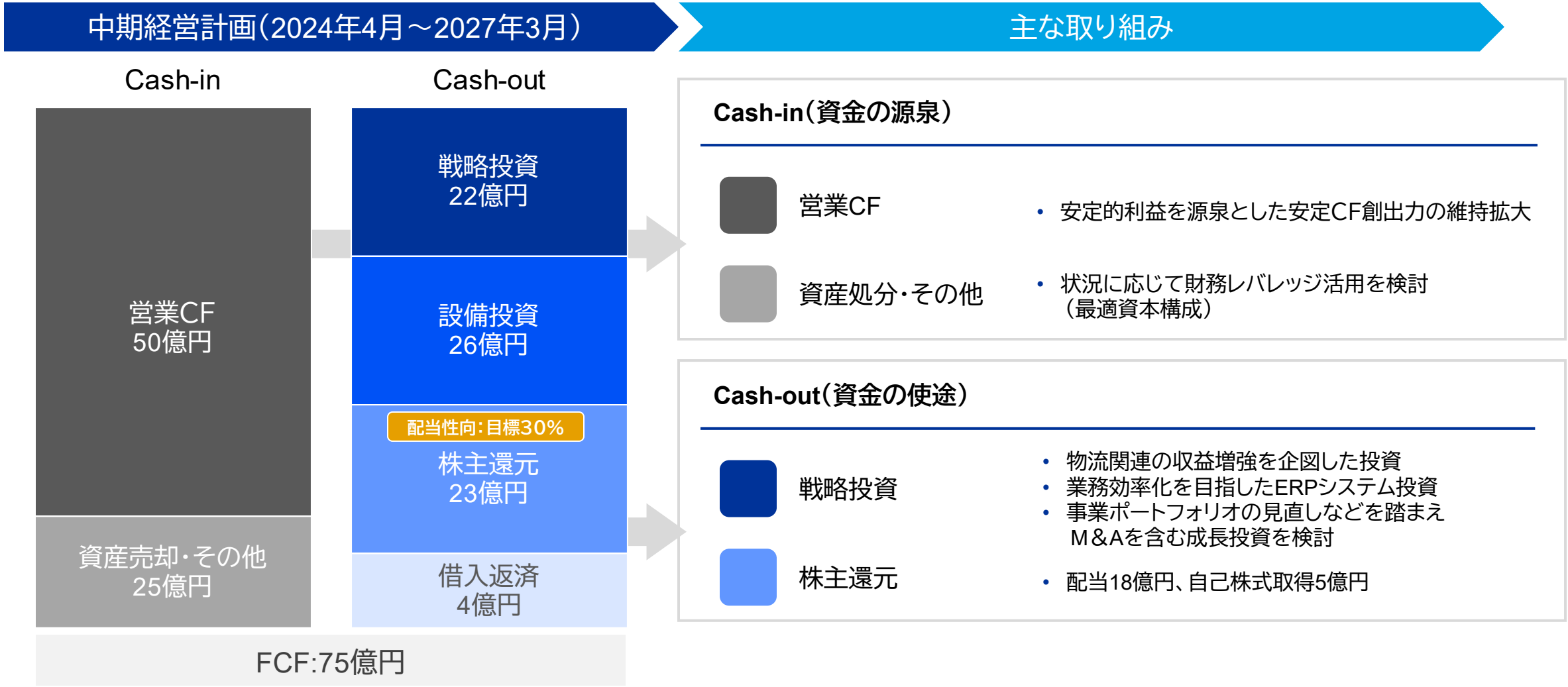
IR戦略　評価 △

- IR戦略・施策充実に向け、IR・広報体制強化
- 株主・投資家とのIRミーティングは個別対応、建設的対話の機会創出に向けたアプローチ継続中
- 本決算・中間決算短信説明資料の開示、更なる内容充実へ
- ホームページ活用による非財務情報充実、IRイベント参加

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュアロケーション

- 成長投資と株主還元を実現する安定的CFの創出を目指す



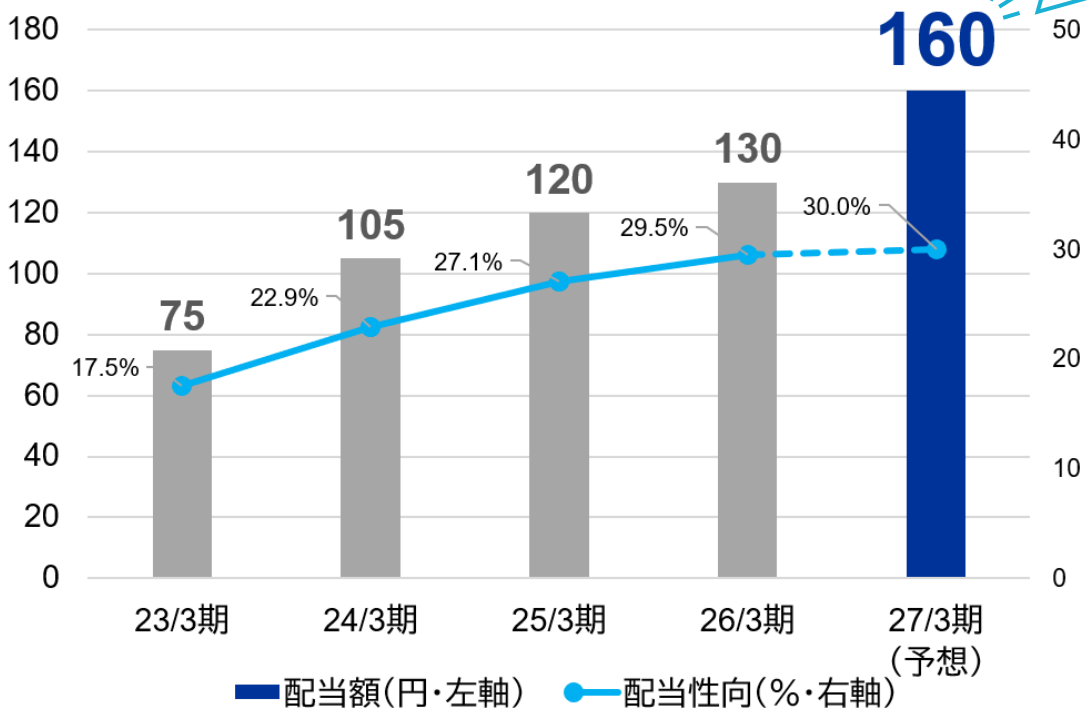
Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

株主還元について（配当額・配当性向推移）

- 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営政策と位置付け、安定した株主還元により持続的な企業価値向上を目指す

配当額・配当性向推移

配当予想を上方修正
140円 → 160円
＋20円



株主還元政策方針

資本戦略

- **累進配当**
- **配当性向目標 30%以上**

2027年3月期 **配当性向30% 達成見込み**

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

1 2027年3月期 第2四半期（中間期） 実績 P4

2 2027年3月期 業績予想 P10

3 成長戦略 P13

4 補足資料 P22

会社概要

商号	ナラサキ産業株式会社
上場市場	東証スタンダード市場、札幌証券取引所
本社所在地	本社：東京都中央区日本橋箱崎町19-21 MSH日本橋箱崎ビル15F 本店：北海道札幌市中央区大通西7丁目3番地1 エムズ大通ビル2F
設立	創業：1902年3月　設立：1943年10月
資本金	23億54百万円
従業員数	連結：740名　単体：421名
関係会社	連結子会社　：4社（国内3社、海外1社） 非連結子会社：5社（国内4社、海外1社） 関連会社　：6社（国内6社）

※2026年3月末時点

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

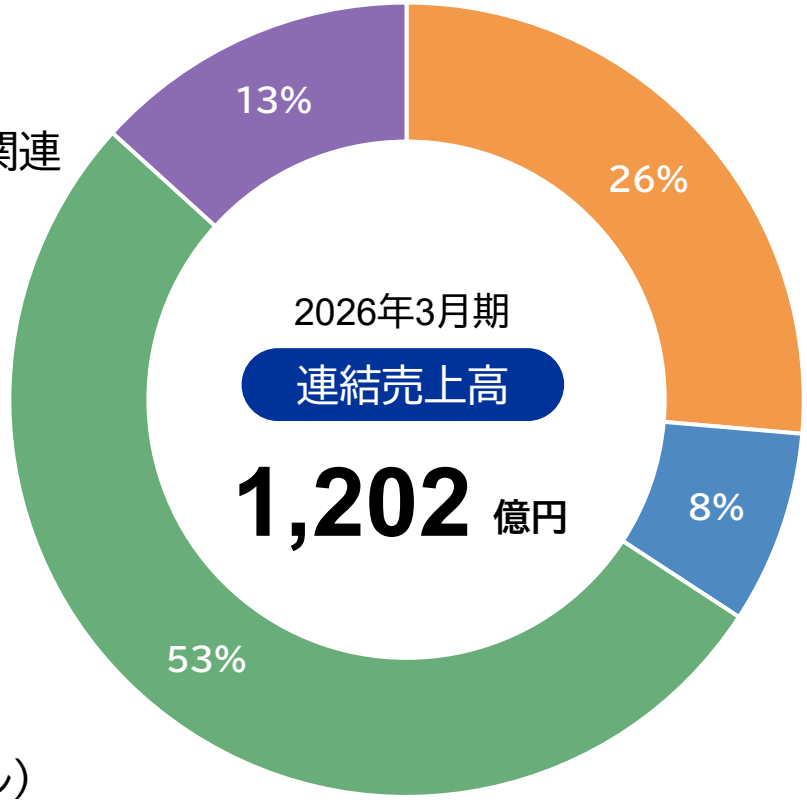
事業領域

電機関連事業

- 機器・FAソリューション関連
- 建築設備・ファシリティソリューション関連
- FA・高機能材料関連

機械関連事業

- 農業施設関連
- 食品・産業機械関連
- 環境エネルギー関連



海運関連事業

- 港湾中継（荷役・トラック・倉庫）
- 国内輸送・国際輸送・通関・貿易
- 海上輸送（一般貨物・セメント・ケミカル）
- 代理・代行（船舶代理店・荷主代行）

建設・エネルギー関連事業

- 建材関連（セメント・建築・土木）
- エネルギー関連
- 建設機械関連

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期 トピックス

地域とのつながり

ナラサキスタックス株式会社　スケートセンター「ネーミングライツ」取得

- ナラサキスタックス株式会社では、昨年、苫小牧小学生アイスホッケー同好会に所属の3チームが参加するアイスホッケー大会を創設しました。現在、参加チームは4チームに増え、白熱した試合が繰り広げられるなど、地域に密着した盛り上がりとなっています。
- また、本年度には子供たちが活動する「新ときわスケートセンター」のネーミングライツを取得して、子供たちの活動の場を支援しました。今後も、スポーツ振興を通じて子供たちの健全な育成と地域の活性化に貢献していきます。





Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.

注意事項

- 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © 2026 NARASAKI SANGYO CO., LTD. All Rights Reserved.


NARASAKI